

品目別レポート さば

■品目説明

サバは、世界的に広く分布。日本周辺で漁獲される対馬暖流系、日本海系および太平洋系のサバのほか、北大西洋で漁獲されるノルウェー、英国、アイルランド、アイスランドなどのサバがある。特にノルウェー産は、脂ののりが良いなど品質が高く、しめ・塩サバなどの加工原料として主に用いられる。サバの用途は広く、生鮮および加工品による食用消費と、漁業用餌料および飼肥料などの非食用消費がある。水産加工品としては、塩蔵品、塩干品、サバ節、缶詰などがある。

輸出向けとしても、食用向け、加工用原料、餌料向け等の幅広い需要があるが、サバは鮮度劣化が早い魚種であるため、高品質の冷凍製品を生産するための体制整備が重要とされる。内閣官房に設置された農林水産業の輸出力強化ワーキンググループによる「農林水産業の輸出力強化戦略(平成28年5月)」では、特に漁獲から水揚げに至るまでの過程で鮮度を保持し、高品質な冷凍製品を生産することが必要なため、運搬船等の鮮度保持機能の強化、高度衛生管理型漁港および水揚げ地の冷凍処理施設の整備を推進するとしている。また、まき網漁業の操業形態の合理化(運搬船の共同利用等)、省エネ・省力化技術の活用(フィッシュポンプ等)により生産コストを縮減し、国際競争力を強化すること、資源管理の取組と併せて、日本近海の沖合漁業の計画的な整備を図り、沖合漁場の生産力を向上させることが課題として挙げている。

なお、19年のサバの国内漁獲量は、前年比17.9%減の44万5,100トンとなった(農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」)。

■輸出概況

19年の日本のサバの輸出動向をみると、金額は前年比23.0%減の1億8,794万ドル、数量は同32.1%減の16万9,458トンであった。主要輸出国・地域の動向をみると、1位(金額ベース)のナイジェリアは、金額が前年比2.5%増の5,307万ドル、数量が同10.3%減の4万5,903トンとなった。2位のベトナムは、金額が前年比63.8%増の4,654万ドル、数量は同45.6%減の4万116トンだった。3位のタイは、金額が前年比9.5%減の3,232万ドル、数量は同21.2%減の3万2,069トンだった。

サバは従来、アジア諸国(タイ、ベトナムなど)へ輸出し委託加工され、第3国へ再輸出されることが多かったが、近年は冷凍の小型サバが食用直接消費用としてナイジェリア、エジプト、ガーナなどのアフリカ諸国に輸出されている。

▼表1：日本のさば輸出

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ナイジェリア	48,555,372	55,544	51,767,556	51,153	53,078,699	45,903	2.5	△ 10.3
ベトナム	14,711,253	15,381	28,413,255	27,559	46,549,028	40,116	63.8	45.6
タイ	24,454,012	32,292	35,727,158	40,709	32,328,644	32,069	△ 9.5	△ 21.2
エジプト	39,070,983	49,358	45,285,804	45,754	26,472,410	25,867	△ 41.5	△ 43.5
ガーナ	25,334,520	29,132	26,498,976	25,748	6,542,305	5,633	△ 75.3	△ 78.1
全世界	194,917,226	232,084	244,230,241	249,517	187,948,945	169,458	△ 23.0	△ 32.1

注：対象はHSコード 0302.44、0303.54、0303.89-500

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

■海外事情

●ナイジェリア

日本からは船便のリーファーコンテナで輸出され、ナイジェリア含む西アフリカの港に荷揚げされたのち、他国へ再輸出（アフリカ大陸内陸部）も行われている模様だ。大型で高価格のノルウェー産に比べ小型で価格競争力のある日本産が、重要なタンパク源として一定の需要があるアフリカ市場に受け入れられているが、品質面での差別化が難しく価格競争に陥りやすい側面もある。

●ベトナム

表2：ベトナムのさば（生・蔵・凍）輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ノルウェー	26,646,073	32,061	30,597,493	18,717	51,847,665	28,026	69.5	49.7
日本	15,390,297	18,517	29,241,206	17,888	42,162,651	22,791	44.2	27.4
中国	19,332,956	23,262	15,646,731	9,572	22,567,646	12,199	44.2	27.4
英国	1,286,772	1,548	2,119,248	1,296	4,341,194	2,347	104.8	81.0
台湾	2,855,488	3,436	5,123,083	3,134	2,986,212	1,614	△ 41.7	△ 48.5
全世界	68,762,546	82,735	89,504,469	54,749	131,506,565	71,084	46.9	29.8

注：対象はHSコード 0302.44、0303.54

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) ,UN Comtrade (2019年) より作成

ベトナムにおけるサバの輸入額は前年比 46.9%増の 1 億 3,150 万ドル、数量は同 29.8%増の 7 万 1,084 トンであった。国別にみると首位はノルウェーで金額が前年比 69.5%増の 5,184 万ドル、数量が同 49.7%増の 2 万 8,026 トンであった。2 位は日本でそれぞれ 4,216 万ドル (44.2%増)、2 万 2,791 トン (27.4%増) であった。この 2 か国のシェアは金額ベースで 71.4%、数量ベースでも 71.4%であった。

日本から輸出されるサバは、直接消費用の多いアフリカ諸国向けと違い、タイなどとともに委託加工用とされ、再輸出されていることが多い。

●タイ

表3：タイのさば輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	25,358,617	30,365	26,879,855	29,943	42,077,282	44,842	56.5	49.8
日本	25,125,219	31,459	39,783,901	43,137	36,491,258	33,580	△ 8.3	△ 22.2
ノルウェー	14,685,442	7,701	20,733,240	10,287	26,440,491	11,237	27.5	9.2
台湾	3,819,522	5,295	8,141,341	7,766	5,345,973	5,111	△ 34.3	△ 34.2
韓国	248,873	331	3,137,278	4,192	3,624,745	4,153	15.5	△ 0.9
全世界	71,543,885	76,303	100,504,136	96,688	117,546,255	100,839	17.0	4.3

注：対象はHSコード 0302.44、0303.54

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

タイのサバ輸入額（2019年）をみると、前年比17.0%増の1億1,754万ドルであった。数量ベースでは同4.3%増の10万839トン。国別輸入額では、1位が中国で、前年比56.5%増の4,207万ドル（シェア35.7%）、2位が日本で同8.3%減の3,649万ドル（同31.0%）、3位がノルウェーで同27.5%増の2,644万ドルだった。

タイでサバ類は、サバ缶などの加工用原料として利用されるほか、サーモンとともに脂ののった魚種が好まれることから、タイ国内の日本食レストランで塩焼き、照り焼きとして人気メニューに挙げられている。

輸入額を数量で割った輸入平均単価で見ると、トン当たり1,165ドルとなっている。同平均を下回る輸入平均単価となっているのは、日本（1,086ドル/トン）、中国（938ドル/トン）、韓国（872ドル/トン）。他方で上回っているのは、ノルウェー（2,352ドル/トン）などとなっており、アジア産は価格勝負、欧州からは高品質で高価格帯のサバが輸入されている。

バンコクの現地系小売店（アッパーミドル層向け）におけるノルウェー産冷凍サバ（1kg）の価格は、335タイバーツ（約1,206円、1THB≒3.6円）となっている。別の現地系小売店（アッパーミドル層向け）における日本産サバ（1匹）は47バーツ（約169円、同）となっている（ジェトロ「現地市場価格調査」、2020年4月）。

本レポートに関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）

農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル

TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。